



いじめ

「うわ、きも。」

「エキスが付いた！うわ！さいあく！」

少女は泣いた。

でも誰も助けてくれない。

いじめ

勇気を出してママに相談した。
ママは「お前が悪い」と少女の頬を叩いた。

少女は泣けなくなった。
目の前が真っ黒になった。

孤独・絶望

孤独・絶望

小さな少女は泣き叫んだ。

「私の何がいけないんだ」

「どうしてこんなに苦しいのか」

小さな光

孤独と戦っている少女に小さな光が差し込んだ。

「もう大丈夫だよ。僕が君を守るから。」

と少年が少女に声をかけた。

少女は泣いた。

少女はずっと抱き締めていた